

寒風古窯跡群確認調査概報②

寒風古窯工場長の墓? 「寒風古墳」

昭和53(1978)年の確認調査により寒風古窯跡群からは須恵器を焼いた窯跡4基と須恵器を作ったと



寒風古墳横穴式石室の須恵器床

昭和53(1978)年の確認調査により寒風古窯跡群からは須恵器を焼いた窯跡4基と須恵器を作ったと... 寒風古墳は、寒風陶芸会館の裏側の石碑と説明板の前を北西へ40ほど進み、右手に折れ穂斜面の山道を約20登ると、かつての畑と山道の境にやや大きな石が1個露出しています。ここが寒風古墳です。記録によると、昭和10年、石を積み上げて部屋とした横穴式石室の内部が荒ら

から長さ212センチで、この上に陶棺の脚の一部が見つかったことから、陶棺を据え置いたための棺台として作られたことが分かります。今回の調査での出土品として、須恵器床の上に残っていた陶棺の脚の一部や石室の入り口の中央部に据え置かれた状態で、完形品の須恵器の杯身2点や杯蓋1点があります。須恵器は、出土位置から、陶棺に埋葬された人物へ供えられたものかもしれませ



須恵器出土状況

700年ごろと考えられます。確認調査の結果から寒風古墳は、①造られた場所が寒風窯に非常に近い。②時期が一部窯の操業期間と重なっている。③石室の床が須恵器を使った須恵器床である。④埋葬の棺が陶棺である。以上のことから、古墳に埋葬された主は、奈良の都へ備前の国から税金の一種としての貢納品として常に寒風窯で須恵器生産を行う工人をまとめ管理した有力者(今でいう須恵器寒風窯の工場長)が埋葬された古墳ではないかと考えられます。

個性を絵筆で表現 はがき絵

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。

『はがき絵』の活動日。長船町公民館の一室で、花を見ては、はがきに向かって絵筆を走らせる皆さんの姿がありました。

何を描くかは自由。描きたい花や果物などをそれぞれが持参。机の上に置き、向きを定め、モチーフを見つめたかと思うと、筆を滑るように走らせ輪郭を描いて色を付け、言葉を添えます。「それぞれの個性を出して表現すること」と高原嘉郎先



仲間ちょっとアドバイス

生は、皆さんの様子を見守りながら、色の濃淡などを指導。皆さんは、「花と会話しながら無心で描くことで心がいやされる」と言い、出来上がった作品は、それぞれの個性があふれています。

年1回の文化祭と、活動日ごとに替える公民館のロビー展示が発表の場。季節の花に言葉を添えた作品が、来館した皆さんに語り掛けています。

★活動日時 第2・4土曜日 午前10時～正午

★活動場所 長船町公民館

★会費 なし

★代表 久山君子さん

☎08691261 2808



長船町公民館ロビー展示のはがき絵は、皆さんの作品です

のびのびとけいこに励む 就将剣友会スポーツ少年団

礼に始まり礼に終わるといわれる、とても規律正しいスポーツである剣道のけいこに精を出す。就将剣友会スポーツの皆さん。週2回、牛窓町公民館長浜分館で練習しています。

は「明るく、楽しく、のびのびと」。のびのびとけいこに励む団員は、小学3年生から中学3年生までの7人。練習前には正座をし、日本スポーツ少年団団員綱領を唱和します。素振りや、肩や体をほぐした後、掛け合いや試合げいこに励



気合いが入る試合げいこ

みます。1時間半の練習時間中休憩することなく、団員たちの大きな掛け声が、けいこ場に響き渡ります。「大人になっても、年を重ねても、ずっと剣道を続けてほしい」と話す指導者の松尾敦さんは、就将剣友会の出身。社会人になり、後輩の指導に当たる先輩も大勢います。あいさつや作法など、基本的な礼儀も身に付く剣道を、皆さんも始めてみませんか? ただ今、団員募集中です。

★活動日時 水・土曜日 午後7時30分～9時

★活動場所 牛窓町公民館長浜分館

★会費 月500円

★連絡先 小玉喜久さん ☎086913414303

から長さ212センチで、この上に陶棺の脚の一部が見つかったことから、陶棺を据え置いたための棺台として作られたことが分かります。

古墳の形や大きさを確認するため石室の外側に3本のトレンチを入れたところ、「周溝」と呼ばれる古墳を区画するために掘られた円弧を描く溝を確認することができました。このことから寒風古墳は墳径約6・5mの円墳であることが分かりました。また、造られた時期は出土した須恵器から

ホップ

ステップ

ジャンプ

ステップ